

第5回道の駅よこはまエリア事業推進協議会 を開催しました

第5回道の駅よこはまエリア事業推進協議会を、平成30年3月12日（月）に横浜町「ふれあいセンター」にて開催しました。

協議会では、道の駅で毎月開催された「ミニイベント」や道の駅サポート集団「ぐるっと隊」の活動報告、地方創生拠点計画の施策への平成29年度の実績内容や平成30年度の実績予定などについて説明があり、意見交換を行いました。



事業推進協議会の様子

①ミニイベントの活動報告

特産品のPRや道の駅への誘客のため、毎月、月ごとに内容を変えて、歳時や農水産物の旬にちなんだイベントを開催しました。イベント毎に新商品の加工品を開発・販売し、数商品は通常の販売品として定着しました。

利用者が落ち込む冬期間に、イベント期間を長めにとって、集客を試みましたが、思ったほど成果は出ませんでした。イベントを目的に道の駅を訪れる利用者が増えるよう定着したものにしていきたいです。

イベントの告知をしたが目に入らなかったという意見もあったので、来年度は広報を工夫していきます。



ひなまつりフェアの様子

②道の駅サポート集団「ぐるっと隊」の活動報告



農産物の集荷の様子

昨年度に引き続き、8月～2月まで週3回稼働し、農産物の集荷サービスのほか、移動販売、配送サービスを実施しました。

稼働日以外も集荷などの要望があり、毎日稼働できることが理想と感じました。

集荷に小型乗用車を利用しているため、一軒の集荷で満載になり、道の駅に一度戻って、集荷へ出かけるといった非効率なものになってしまいました。

移動販売は、道の駅の新商品の宣伝の場として有効だったと思います。

③道の駅よこはまエリア地方創生拠点基本計画の各施策の取組状況

上記、2つの活動報告以外の施策について、お知らせします。

観光企画の強化

- レストランの魅力向上のため、インターンシップを受け入れて改善策を提案してもらったり、ビュッフェ方式のレストランの視察などを行いました。
- 観光を強化するため、函館市の金森倉庫で菜の花キャラバンを実施したり、台湾台北市で下北6市町村と連携してPR活動などを行いました。
- 観光客の受け入れ体制の充実を図るため、多言語のレストランメニューを作成したり、観光PRが可能な電子看板の整備などを行いました。



作成した多言語のレストランメニュー

（裏面には、引き続き「協議会の内容」と「第2回協議会での委員意見」を掲載しています）

特産品による商品開発・ブランド化

- 魅力ある商品開発を行うため、専門家を招いて勉強会を実施したり、開発のためのアンケートを実施しました。
- またマーケティング調査のため県外のイベントに出展しました。
- 商品のPRの工夫・改善のため、専門家を招きPOP講習会を開催し、実際にPOPを作成し、売り場に展示しました。



作成したPOPの例

直売所の充実（地産地消）

- 売り場の工夫・改善として、野菜を種類毎に陳列しました。購入者にとって選びやすく、また見た目もすっきりした売り場になりました。
- 町民に道の駅に来てもらえるよう、売り場に小学生の絵画を展示しました。



改善した野菜の陳列

住民への宅配サービス

- 道の駅にある商品のカタログを作成・配布し、注文のあった商品の宅配を行いました。
- 温泉や役場のロビーで道の駅にある商品の移動販売を行いました。
- 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配送しました。じゃがいもや白菜などを箱買いした方の利用が多かったです。



温泉での移動販売

道の駅への送迎サービス

- 4月からふれあいセンターから銀行、農協、道の駅を循環する送迎バスを運行しました。道の駅でイベントが開催されてるときも送迎バスを運行して欲しいなどの意見がありました。

地域防災力の強化

- 駐車場拡張や防災除雪ステーション建設予定地の測量や駐車場の設計を実施しました。
- 防災意識の醸成のため、旧有畑小学校で、横浜町総合防災訓練を実施しました。

第5回事業推進協議会における委員の皆様からの主な意見

■全般について

- 費用と効果を見極めてやっていくことが重要。また、成果が出るまで時間が掛かる事業もあるので場合によっては継続も大事。
- 強みを活かして行くことも必要。（蜜蝋や乾燥なまこなど横浜町らしさが出るものの販売など）
- 平成32年度まで協議会を続けていくなら、ロードマップを掲げて、それに向かって取り向くべき。

■ミニイベントについて

- イベントは、年間計画を策定するとか、毎月決まった日に、道の駅に行けば何かがやっているという風習づくりが大事。

■集荷、宅配サービスについて

- コミュニティバスや路線バスに住民の足の確保のため税金を投入することもあるが、同様な考え方で集荷サービスに投資していくことを考える必要もあるのではないか。

■地域福祉について

- 高齢者のニーズはどこにあるのか、今後の高齢者のニーズはどう推移していくのか把握して対策することが重要

■その他

- 鰯の問題をピンチではなくチャンスと捉えてがんばって欲しい。

ホームページで情報をご覧いただけます／

道の駅よこはま 地方創生 検索



平成28年3月に策定した基本計画の内容やそれを実現させるために実施した取組について掲載しています。

○お問い合わせ先○

「道の駅よこはまエリア事業推進協議会」事務局

● 横浜町 産業振興課

電話 0175-78-2111